学校番号	1202

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　新現代社会」　（第一学習社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

21 世紀に入り、私たちが生きる現代社会は価値観が多様化・複雑化し、正解がひとつでない課題も数多く存在している。そのような現代社会において、様々な課題を多面的・多角的に考えられる力が重要となってくる。そこで現代社会の授業では、まず基本的な用語の理解に重点を置き、ニュースや新聞の内容がわかることをひとつの目標とする。その上で他者との関わりの中から、自分なりの答えを見つけ、そしてその考えをわかりやすく人に伝えられることを目指し学習を進めていく。

２　学習の到達目標

・私たちが生きる現代社会のしくみを、地理・歴史分野とも絡めて理解し、ニュースや新聞の内容がわかるようになる。

・現代社会の諸課題について、他者との関わりの中で、自分なりの答えを見つけ、それを人に伝えることができる。

・現代社会のしくみや諸課題について、「なぜそうなったのか」という原因や背景を考え、批判的に考察できる力を身につけることができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	私たちが生きる現代社会に関心を持ち、様々な課題について意欲的に追求し、良識ある公民として社会に参画する姿勢を身につけることができる。	現代社会の諸課題について、多面的・多角的に考察し、その考えを文章や発表の形で表現することができる。	現代社会の諸課題についての情報を教科書・資料集や、テレビ・インターネット・新聞などから入手し、正しく読み取ることができる。	現代社会の諸課題について理解するための基本的な知識を身につけることができる。
評価方法	・授業観察 ・ワークシートの記述 ・課題の提出	・定期考査 ・ワークシートの記述 ・授業中の発表	・定期考査 ・課題プリント	・定期考査 ・小テスト ・課題プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	私たちの生きる社会	・これから学習していくさまざまな課題が世界には存在していることを理解する。 ・地球規模の環境問題にはどのようなものがあるかを，書籍やインターネットなどを用いて調べ、理解する。 ・さまざまな環境問題と人間の活動とのかかわりについて、教科書掲載の写真や地図を使いながら理解する。 ・環境問題への国際的取り組みを踏まえ、自然と共生するよりよい環境を次の世代に引き継ぐためにはどうしたらよいか考える。 ・地球温暖化対策への考察を通して、幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。	○	○ ○	○	○ ○ ○	a:私たちが生きる現代社会がどのようなものであるか関心を持ち，意欲的に授業に参加することができる。 b:限られた資源，科学技術と生命倫理，高度情報通信技術で起こる問題など，多様で複雑化している現代社会をどのように生きることが望ましいかを考察できる。 c:環境問題や資源エネルギー問題，生命倫理，ICT の問題について，インターネットなどを使用して調べることができる。 d:環境問題，資源エネルギー問題，生命倫理，ICT に関する基本的な知識を理解することが出来る。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査
1	青年期と自己の形成	・人生の中で青年期はどのような意味をもつのか考え、青年期におけるさまざまな悩みと、それを克服するためにはどのようにすればよいか考える。 ・一人前の人間として自立するためには何をしたらよいか考える。 ・伝統や文化と自らの行動様式や考え方との関係について考察する。 ・職業のもつ意味、社会に参加することの意義について書籍やインターネットで調べ、一人ひとりが社会づくりに参画していく必要のあることを理解する。 ・生涯にわたって学習していくことの意義を考える。	○	○ ○ ○ ○	 ○	 ○	a:高校生にとって関わりの大きい青年期の意義などについて関心を持ち，意欲的に授業に参加できる。 b:青年期という時代をどのように過ごすことが望ましいか考えることができる。 c:職業のもつ意味や社会に参加することの意義についてインターネットを使用して調べることが出来る。 d:青年期に関する基本的な知識を理解することができる。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査

1	個人の尊重と法の支配	・私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。 ・基本的人権が保障されるにいたった経緯を、さまざまな情報手段で資料を収集し、具体的事例をあげて考察し、理解する。 ・世界のおもな政治体制について教科書の図などを使って理解し、真の民主政治の実現と関連させて考察する。	○	○ ○	○	○ ○ ○	a:私たちが生きる現代社会ではどのような政治が行われているのか、また基本的人権はどのような経緯で保障されたのかについて興味を持ち、意欲的に授業に参加できる。 b:望ましい民主政治とはどのようなものであるかを考えることができる。 c:基本的人権が保障されるようになった経緯についてインターネットや書籍を活用して調べることができる。 d:私たちの生活と政治や国家のかかわりについて、また基本的人権の保障されるに至った経緯，また世界の政治制度について理解することができる。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査

2	現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 ・平和主義をめぐって、どのような動きがあったのかを理解する。また、自衛隊をめぐる問題について理解する。 ・日米安保体制はどのような背景から生まれ、どう変化してきたのか理解する。 ・身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について調べ、その解決策を考える。 ・社会権が私たちの生活をどのように変えたかを考える。また、新しい人権にはどのようなものがあるか理解する。 ・基本的人権と公共の福祉の関係について理解し、社会における望ましい解決策を、新聞などさまざまな情報手段を活用して調べ、話し合う。 ・議会制民主主義とはどのようなものか、国権の最高機関である国会について理解する。 ・議院内閣制のしくみ、内閣の組織と権限について理解し、行政の民主化のために何が必要か考える。 ・裁判所のパンフレットなどを入手して裁判員制度を含む公正な裁判のための制度について理解する。また、憲法を守るための裁判所の権限について理解する。 ・地方自治の意味と地方自治の発展のための課題について自分自身の問題として具体的に考える。 ・国会議員の選挙制度はどのようなしくみか、また、どのような課題があるのかを理解する。 ・国民が政治に参加する方法にはどのようなものがあるかさまざまな手段を使って調べ、住民にとって生活しやすい政治のために必要な行動を話し合う。	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:日本国憲法の内容や日本の民主政治のしくみについて興味を持ち、意欲的に授業に取り組むことができる。 b:今の日本の民主政治のしくみについて理解した上でどのような民主政治が望ましいのかを考える。 c:今の日本の民主政治の課題についてインターネットや書籍を活用して調べることができる。 d:日本国憲法の内容や現代の日本の民主政治のしくみについて理解することができる。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査

2	国際政治の動向と日本の役割	・主権国家とはどのようなものか、国際社会における国際法の役割と限界について理解する。 ・国連の成立、役割と課題について理解する。 ・第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について、年表を使って整理し、理解する。 ・核兵器を廃絶するためにどのような取り組みがおこなわれているか、また、国際平和のために何をしなければならないか、さまざまな情報手段を活用して調べ、まとめる。 ・核兵器の問題についての知識を身につけ、それを廃絶するために何をしなければならないかを理解する。 ・民族や宗教の対立による紛争にはどのようなものがあるか、人種・民族紛争の実態,難民問題について理解する。 ・国境と領土問題や日本の領土問題について、教科書の写真・地図を使用して理解する。 ・日本の外交の基本方針を理解し、アジアの一員としての日本の役割について考える。 ・国際社会における日本の役割、国際社会の一員として何をすべきか考える。	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:国際社会のしくみについて興味を持ち、意欲的に授業に取り組むことができる。 b:いまの国際社会に存在している多くの課題を知り、それらの課題を解決するために自分はなにができるのかを考える。 c:現代の国際社会の課題についてインターネットや書籍を活用して調べることが出来る。 d:現代の国際社会の仕組みや国際連合について、また核兵器に関する問題についてを理解することができる。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査

3	現代の経済社会と私たちの生活	・私たちの生活と密接にかかわる経済の基本的なしくみを理解し、資本主義経済と社会主義経済の特徴を理解する。 ・企業の活動内容、企業の負っている社会的責任について理解し、株式会社の特徴についてまとめる。 ・市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。 ・国民所得について、教科書に掲載されている図版を適切に使用し、理解する。 ・景気変動について理解し、経済成長は生活にどのような変化を与えるかを、具体的事例をあげて考える。 ・政府はどのような経済的役割をもっているかを理解する。 ・財政にはどのような機能と役割が求められているか、日本の財政の課題は何かを理解する。 ・金融機関の果たしている役割、中央銀行の金融政策について理解する。 ・第二次世界大戦終結から現在まで、日本の経済発展のあゆみについて年表を使って理解し、現在の日本経済の課題と新たな取り組みについて考える。 ・技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、新聞やインターネットを活用して身近な問題と関連させて考察する。 ・中小企業の現状と役割について理解する。 ・日本の農業政策の推移を理解し、これからの日本の農業、食料政策などの問題について考える。 ・労働運動の展開と労働基本権について理解し、近年の雇用事情の変化について考える。 ・雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体的事例をあげて多角的に考察する。 ・公害の原因と、それに対する国・企業の責任について理解し、公害を防止するためにはどうすべきか考える。 ・消費者は契約についてどのような自覚が必要かを考え、消費者問題に対する企業の責任や国の対策について理解する。 ・日本の社会保障制度の特徴、少子高齢社会の課題について理解する。	○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:現代社会の経済のしくみについて関心を持ち、意欲的に授業に取り組むことが出来る。 b:現代の経済社会の課題について考えることができる。 c:第二次世界大戦後の日本経済の流れや、いまの日本にはどのような労働問題があるかなどについて、インターネットや書籍を活用して調べることが出来る。 d:現代社会の経済のしくみや課題について理解することができる。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査

3	国際経済の動向と日本の役割	・自由貿易と保護貿易の違いについて考え、自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割について理解する。 ・自由貿易推進のために国際的な協調体制がとられてきた経緯を理解し、国際収支の変化、為替相場の変動が経済に及ぼす影響について理解する。 ・貿易の意義、円高・円安の生じる理由、経済のグローバル化について考え、身近な事例をもとにレポートを作成するなど、適切に表現する。 ・日本の貿易やアメリカ、アジアなどの貿易について理解し、貿易の拡大とそれにともなう貿易摩擦について、具体的事例をあげて考察する。 ・国際経済機構や地域的経済統合にはどのようなものがあるか理解する。 ・南北問題の原因、発展途上国のかかえている問題について理解し、南北問題解決のために日本は何をすべきか考える。	○	○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:現代の国際経済のしくみや課題について興味を持ち、意欲的に授業に参加することができる。 b:経済がグローバル化していることのメリット、デメリットについて、また私たちは国際経済をよくするために私たちにできることは何かを考える。 c:現代の国際経済にある課題はどのようなものであるかをインターネットや書籍を活用して調べることが出来る。 d:国際経済のしくみや貿易することの意義、また経済統合などについて理解する	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解